

# 木に親しみ げたをつくろう



## ◆活動の流れ

- 1 身近な素材「木」に親しむ
- 2 設計図を描く
- 3 木材を選び、表面に線を引く
- 4 木材を切り、やすりかける
- 5 表面を仕上げる
- 5 鼻緒をつくる
- 6 鼻緒をすげる
- 7 つくったげたをはいてみる

## ◆この勉強で使うもの(手工具)

- ・指し金
- ・のこぎり
- ・クランプ
- ・万力
- ・ボール盤
- ・タッカー
- ・ドレッサー
- ・紙やすり



## ◆材料

- ・板材
- ・角材
- ・木工用接着剤
- ・ひも(綿ロープ)
- ・米ぬか
- ・ガーゼ 又は布

# 木に親しもう

1 身の回りにある木工製品を見つけてみよう。



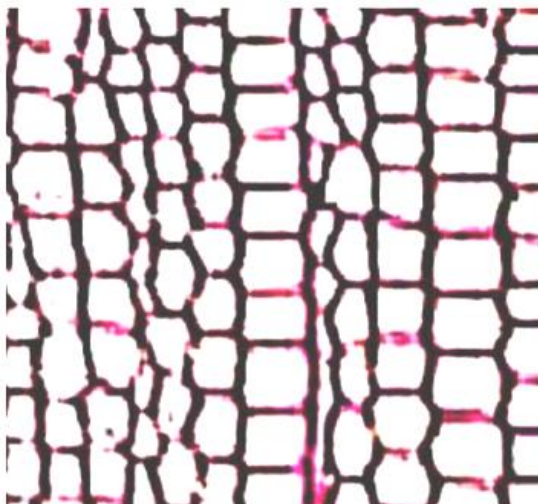
木・金属・プラスチックの製品をくらべてみよう。どんなことに気付くかな。  
木のよさについて考えてみよう。

木によって手ざわりや重さ、においにちがいがあることがわかったかな。

2 いろいろな木材のちがいを知ろう。



3 木の成長の仕方を知ろう。



これは、あるものの拡大写真です。何だかわかるかな。

熊本大学教育学部 田口浩継助教授作  
—木材博士に挑戦—より

×75

★木の性質やよさについて考えることができましたか。

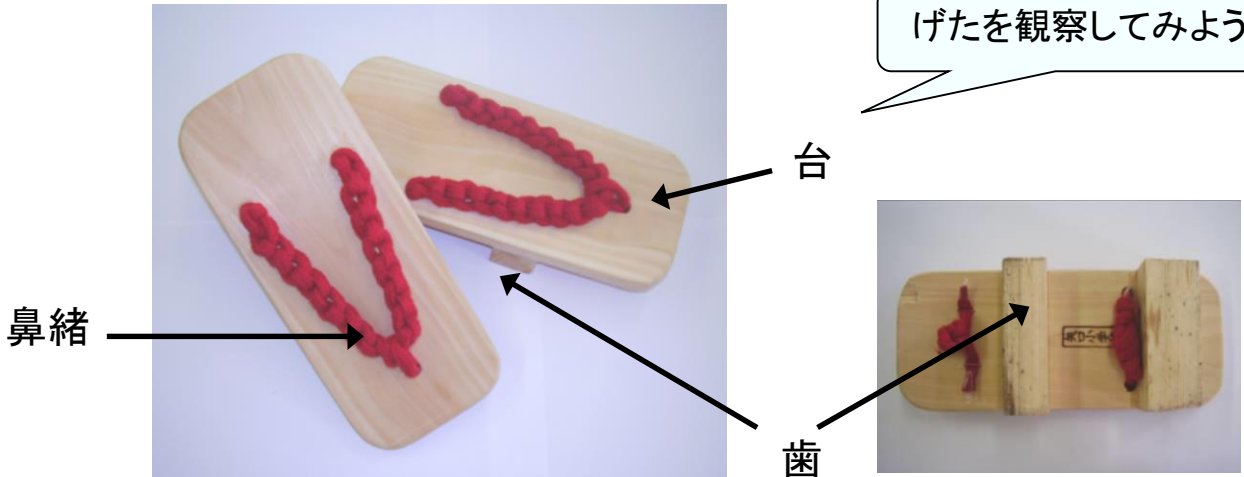
大田区立矢口小学校

# げたをつくろう

日本に昔から伝わる  
げたには、どんな歴史が  
あるのかな。

◇はきやすいげたにするには、どんなことに気をつけたらいいかな。

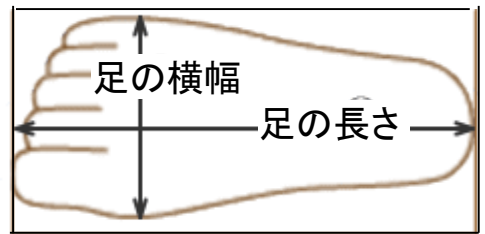
げたを観察してみよう。



## 1 げたの設計図をかこう

### (1) 自分の足の大きさを測ろう

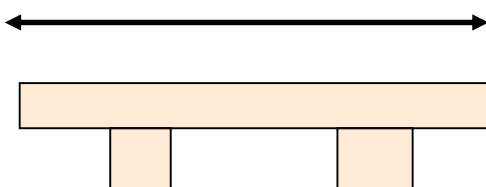
- ①定規、鉛筆を用意して、足の形を取る。
- ②足の長さや横幅を測る。



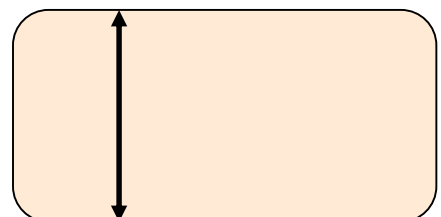
最も長いところが足の長さ。親指の付け根の骨の出っ張り部分から  
小指の付け根の骨の出っ張り部分までが足の横幅。

### (2) げたの台の大きさを決めよう

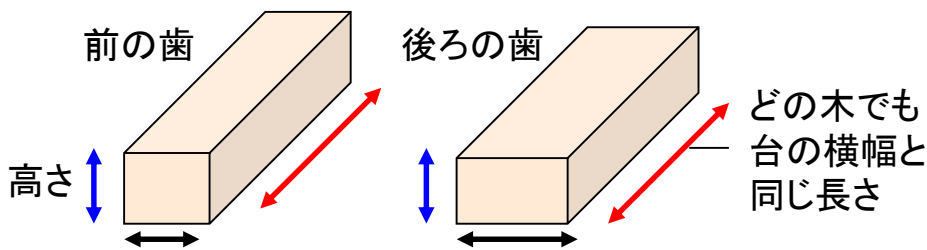
台の長さは、自分の足の長さ



台の幅は、自分の足の横幅



### (3) 歯の大きさを調べよう

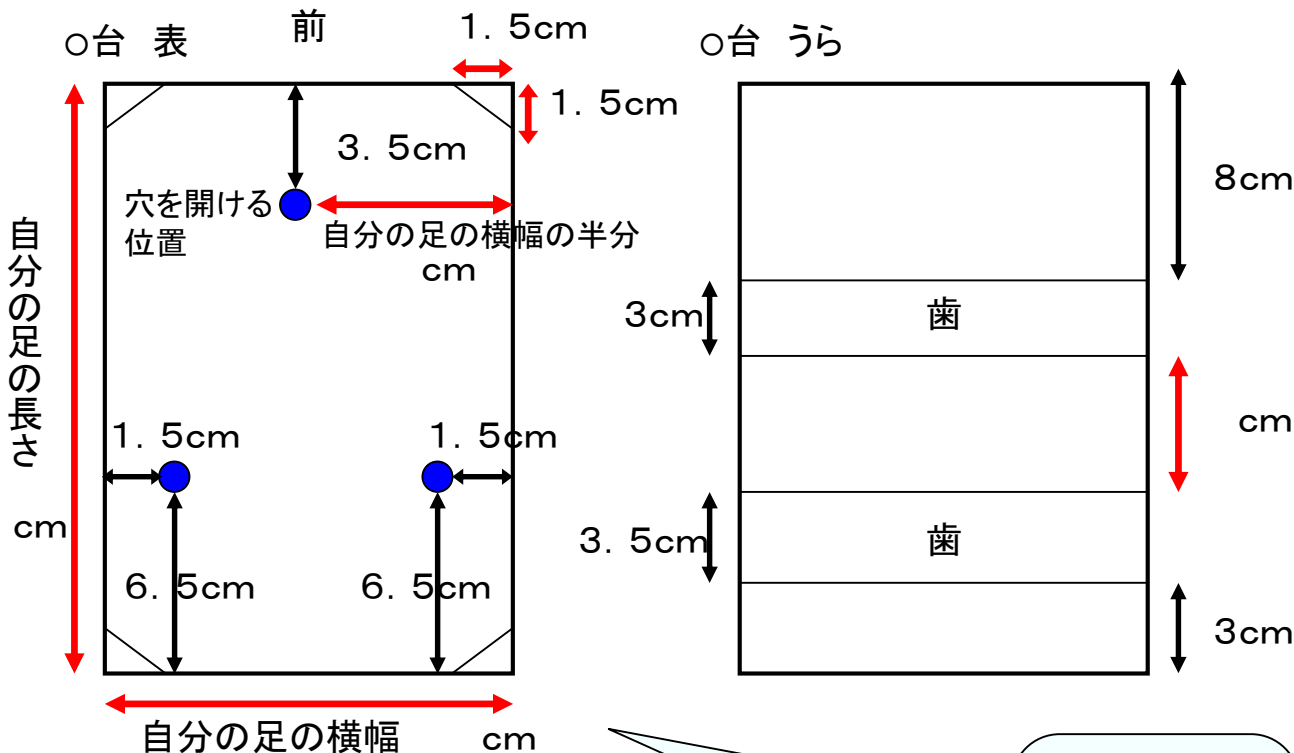


木材によって、長さがちがうので気を付けよう！（高さは、それぞれの角材の高さのまま）

カツラ・アガチス		ヒノキ	
前	後	前	後
3cm	4cm	3.8cm	3.8cm
3cm	3cm	3cm	3.8cm

台が、スギ・キリの方は、歯をどの木材にするか3種類の中から選ぼう。

### (4) 設計図に表そう



赤い矢印⇔のところは、人によって長さがちがいます。自分の長さをしっかりと設計図にかきこもう！

☆設計図をかき、必要な長さや手順をかきこむことができましたか。

大田区立矢口小学校

## 2 木材に線を引こう

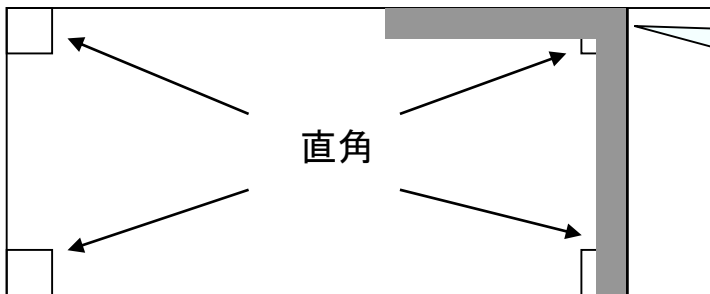
### (1) 木材を選ぼう



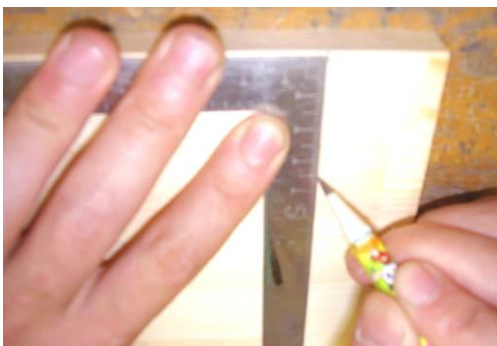
いろいろな種類の木でできたげたをはいてみて、はだざわりなども確かめてみよう。

### (2) 設計図をもとに、たて・横の長さ確かめて線を引く。

木の木目をよく見て表とうらを決めよう！



指し金を使い、しっかりと直角をとる。



☆設計図をもとに、きちんと線を引くことができましたか。

大田区立矢口小学校

のこぎりの使い方のページをよく読んでみよう。

### 3 木材を切ろう

#### (1) 台の板材を切る。

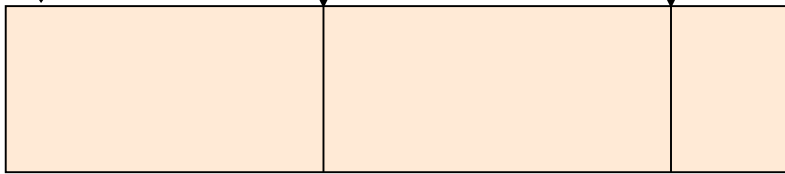
のこぎりは、2人で協力して使おう！

切りはなした板材には、すぐ名前を書こう！

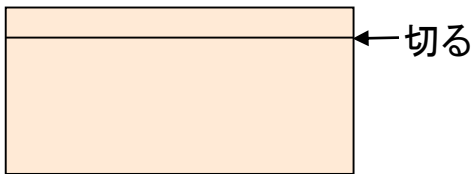


切る

切る

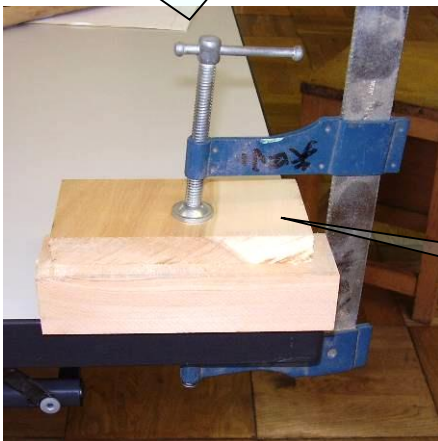


切り終わりには、特に注意しよう！



#### (2) 歯の角材を切る。

クランプを使い、木をしっかりと固定しよう！



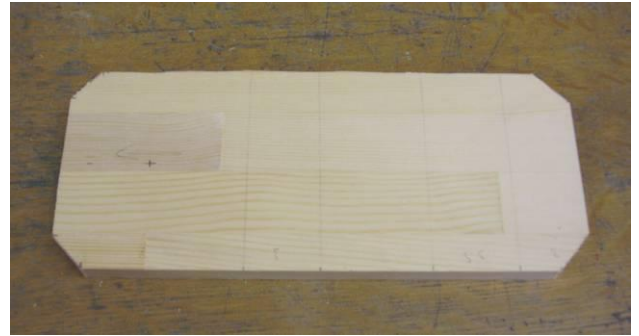
切る木の上にあて板をのせクランプではさむと、板材をきずつけず、しっかりと固定できる。  
あて板に合わせのこぎりをひくとよい。

☆友達と協力して、のこぎりできちんと板材・角材を切れましたか。 大田区立矢口小学校

### (3) 台の角をおとす。(面取りをする)



切り終わりには、特に注意しよう！



しっかりと板をおさえよう！

## 4 穴を開けよう

ボール盤で、穴を開ける。

ボール盤のレバーをゆっくりと下げていき、穴を開ける。



穴を開けるところの印とドリルの先をきちんと合わせる。

木をしっかりと押さえ固定する。かみの毛なども巻き込まれないように注意しよう。



☆安全に気を付け、きちんと穴を開けることができましたか。

大田区立矢口小学校

## 5 やすりをかけよう

(1) ドレッサーをかける。



初めに、角を  
けずってならず。

4つの角だけでなく  
ふちの部分にも  
ドレッサーをかけよう！

(2) 紙やすりでみがく。

紙やすりを木片に  
まきつけてみがくと  
やりやすい。

紙やすりは、最初は  
目のあらいもの(番号  
の数字の小さいもの)、  
次に目の細かいもの  
でみがこう！



☆角をけずり、なめらかに仕上げることができましたか。

大田区立矢口小学校



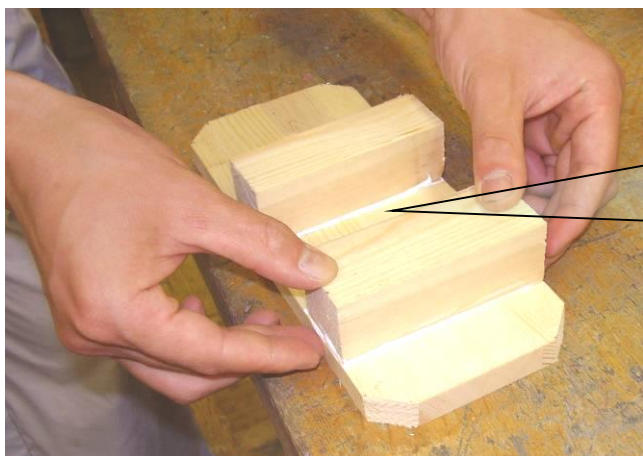
## 6 台に歯をつけよう

(1) 歯に、木工用ボンドをつける。



板材や角材に付いたほこりや木の粉を取り除いて、接着する面をきれいにしておこう！

ボンドは、少しはみ出るくらいしっかりつけよう。



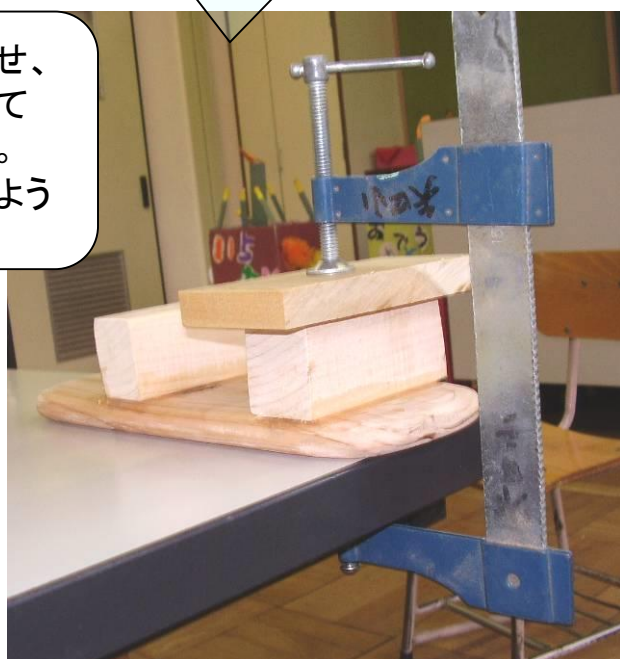
台につけたときにはみ出したボンドは、ぬれたぞうきんできちんとふきとっておこう。

こうすることで、歯の角材にきずをつけず、歯全体に力をかけることができる。

(2) 歯を台につけ、クランプで固定する。



歯の上に板をのせ、クランプでおさえてしっかりとつける。位置がずれないように気をつけよう！



☆きちんと台に歯をつけることができましたか。

## 7 仕上げをしよう

(1) 焼きごてで、印を入れる。

① 焼きごてをガスコンロの火で熱する。



やけどに注意！  
周りに人がいないかにも  
気を付けよう。

② 自分の好きな位置に、焼きごてをあて、  
しっかりと押さえつける。



③ 焼きごてを上を持ち上げる。



このとき、焼きごては、まだとても熱  
いから、人に渡すときや、冷まして  
いるときにも気を付けよう！

(2) 米ぬかで表面をみがき、仕上げる。

① 布の上に米ぬかをのせる。



米ぬかををぬると、  
つやが出て  
よごれもつきにくくなる。

② 米ぬかを包んで、げたの表面をこする。

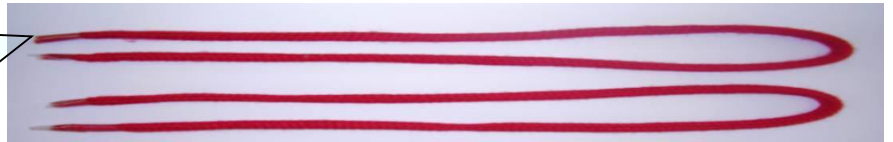


☆安全に気を付けて焼印をし、米ぬかでていねいに仕上げることができましたか。

# 鼻緒をつくろう

(1) 170cmのひも(綿ロープ)を2本用意する。

ひものはしは、セロハンテープで細くなるようにとめておく。

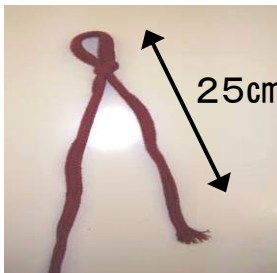


(2) くさり編みをする。

① かた方のはしから25cmのところ、ひきとき結びをする。

ひきとき結びのやり方

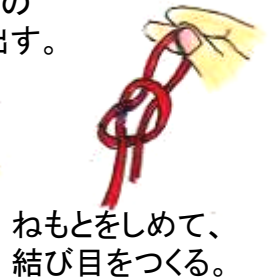
人差し指と親指を輪の中に入れ、長い方のひもを取り、引き出す。



長い方のひもを上にして、輪をつくる。



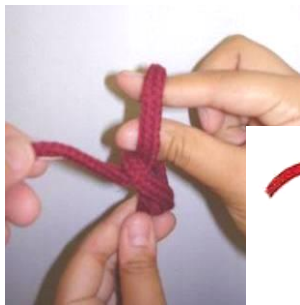
交差したところをしっかりとおさえる。



ねもとをしめて、結び目をつくる。

② くさり編みで編んでいく。

長い方のひもを下に引くと輪の大きさが調節できる。

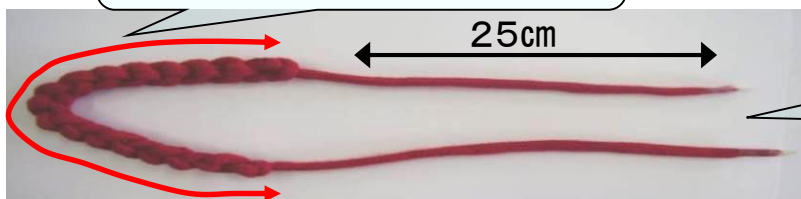


① でつくった輪に、人差し指と親指を入れ、ひもをつまんで、輪から引き出す。

できた輪に、また人差し指と親指を入れ、くり返し編んでいく。

20回くらい編み、最後は、輪からひもを全部引っ張り出してとめる。

自分のげたの台に開けた3つの穴に合わせたくらいの長さにする。



目の大きさをそろえ、編み目が固くなりすぎないように調節しよう。

初めと終わりは、編まずに残しておく。

☆ 編み目を調節しながら、くさり編みができましたか。

# 鼻緒をすげよう

すげる＝鼻緒をげたの  
台につけること。

(1) 40cmのひも(綿ロープ)を2本用意する。



(2) 前のあなにひもを通し、鼻緒結びをする。

ひものはしは、セロ  
ハンテープで細く  
なるようにとめておく。

①くさり編みにしたひもの  
まん中に、40cmの  
ひもをかける。



②かけたひものはじの  
2本のひもを 前の穴に入れる。



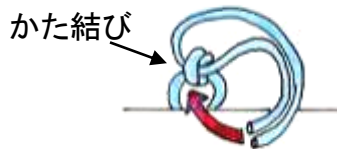
足の親指と  
人差し指で  
はさんでみて、  
輪の大きさを  
調節する。

③上に出る部分の長さを調節し、  
うらに出た2本のひもを1回結ぶ。



このとき、きっちり  
と結ばずに、少し  
あけておく。

④もう1回結び(かた結び)、  
結んだ後、あけておいた  
ところに、2本のひもを  
そろえて入れる。



⑤入れた2本を図のように輪に  
なったひもの間に入れて、  
ぎゅっとしめる。



⑥よぶんなひもを切り、2つに分けて  
タッカーで台にとめる。

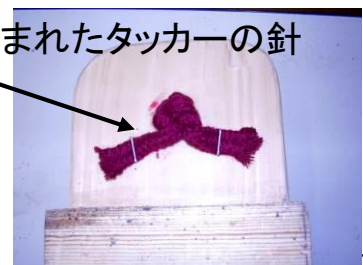
タッカーの先を、台となるべくすき間があかないようにおしつけ、レ  
バーを強くにぎる。「パチン」と音がしたらレバーをゆるめる。

レバー



打ち込まれたタッカーの針

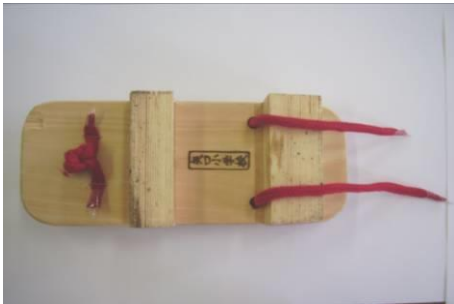
針の出るところ



矢口小学校

### (3) 後ろのあなにひもを通し結ぶ

①くさり編みしたひもの両側を後ろの穴に入れる。



②げたをはいてみて、鼻緒の長さを調節する。



ゆるくならないように！きつくらいでよい。

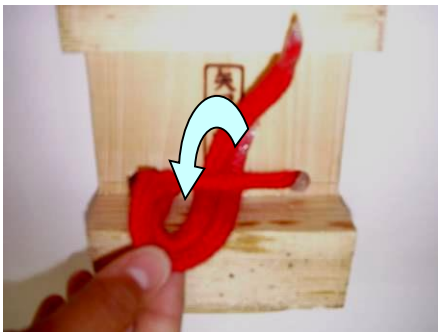
③左側で、かた結びをする。



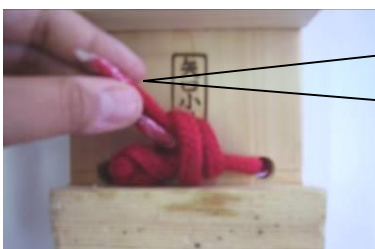
④ひもを2本をそろえ、歯の方からくぐらせて、くるくるとまきつける。



⑤2～3回まいたら、ひもをくぐらせるときにできる輪の中に、ひもの先を入れ、引っ張る。



⑥あまったひもは、まきつける。



強く引っ張って、結び目をかたくしめよう！



完成！

☆鼻緒をきちんと上げることができましたか。

# げたをはいてみよう

自分がつくったげたは、  
どんなはきごちが  
するかな？



☆はきやすいげたが、できましたか。

大田区立矢口小学校